



ASR-A25S シリーズ

ASR-P252B

ASR-023B-V2

バーコード設定マニュアル

株式会社アスタリスク

初版 2025/05/08

※機能修正などにより、予告無く修正されることがあります。

改訂履歴

版数	発行日	改訂内容
初版	2025/05/08	新規作成

各種パラメータの設定にあたって

パラメータの設定をする際は、スマートデバイスのバッテリー残量が十分である状態で行ってください。

パラメータの変更の方法

このバーコード設定マニュアルから、適切なバーコードを選んで読み取ってください。新しい設定は AsReader に保存されます。

バーコード設定変更手順

1. AsReader をスマートデバイス (iOS/Android/Windows) と接続します。
2. スマートデバイスの AsReader を使用してバーコードの読み取りができるアプリを起動します。
3. 「設定開始」バーコードを読み取ります。
4. 変更したい項目の設定バーコードを読み取ります。
* 設定バーコードを読み取った場合、バーコードのデータはアプリ側には転送されません。
5. 「設定完了」または設定バーコード以外の任意のバーコードを読み取ると、設定が完了します。



設定開始



設定完了

設定バーコード表示例



目 次

1. デフォルト設定に戻す	10
1.1. 工場出荷状態に戻す	10
1.2. カスタム初期設定登録	10
2. デフォルト設定リスト	11
3. 基本設定	17
3.1. 読取エリア	17
4. バーコードパラメータの設定	18
4.1. 一般設定	18
4.1.1. 全種類のバーコード読取を有効/無効にする	18
4.1.2. 全種類の一次元バーコード読取を有効/無効にする	18
4.1.3. 全種類の二次元バーコード読取を有効/無効にする	19
4.1.4. GS1 アプリケーション識別子 (GS1 AIs) に括弧を追加する	19
4.2. Code 128 に関する設定	20
4.2.1. 工場出荷時設定に戻す	20
4.2.2. 読取有効/無効	20
4.2.3. バーコードの読取長の設定	20
4.2.4. チェックデジットの送信	21
4.2.5. FNC1 の出力	21
4.3. EAN-8 に関する設定	22
4.3.1. 工場出荷時設定に戻す	22
4.3.2. 読取有効/無効	22
4.3.3. チェックデジットの送信	22
4.3.4. 2 桁のアドオンコード	23
4.3.5. 5 桁のアドオンコード	23
4.3.6. アドオンコードの追加	24
4.4. EAN-13 に関する設定	24
4.4.1. 工場出荷時設定に戻す	24
4.4.2. 読取有効/無効	24
4.4.3. チェックデジットの送信	25

4.4.4.	2桁のアドオンコード.....	25
4.4.5.	5桁のアドオンコード.....	26
4.4.6.	アドオンコードの追加	26
4.4.7.	EAN-13 の先頭が 290 の場合、アドオンコードを追加.....	27
4.4.8.	EAN-13 の先頭が 378／379 の場合、アドオンコードを追加.....	27
4.4.9.	EAN-13 の先頭が 414／419 の場合、アドオンコードを追加.....	28
4.4.10.	EAN-13 の先頭が 434／439 の場合、アドオンコードを追加	28
4.4.11.	EAN-13 の先頭が 977 の場合、アドオンコードを追加.....	29
4.4.12.	EAN-13 の先頭が 978 の場合、アドオンコードを追加.....	29
4.4.13.	EAN-13 の先頭が 979 の場合、アドオンコードを追加.....	30
4.5.	UPC-E に関する設定.....	30
4.5.1.	工場出荷時設定に戻す.....	30
4.5.2.	読取有効／無効.....	30
4.5.3.	チェックデジットの送信.....	31
4.5.4.	2桁のアドオンコード.....	31
4.5.5.	5桁のアドオンコード.....	32
4.5.6.	アドオンコードの追加	32
4.5.7.	先頭キャラクターの送信.....	33
4.6.	UPC-A に関する設定.....	33
4.6.1.	工場出荷時設定に戻す.....	33
4.6.2.	読取有効／無効.....	33
4.6.3.	チェックデジットの送信.....	34
4.6.4.	2桁のアドオンコード.....	34
4.6.5.	5桁のアドオンコード.....	35
4.6.6.	アドオンコードの追加	35
4.6.7.	先頭キャラクターの送信.....	36
4.7.	Interleaved 2 of 5 に関する設定.....	36
4.7.1.	工場出荷時設定に戻す.....	36
4.7.2.	読取有効／無効.....	36
4.7.3.	バーコードの読取長の設定.....	37
4.7.4.	チェック.....	38

4.7.5. Febraban	39
4.8. ITF-14に関する設定.....	39
4.8.1. 工場出荷時設定に戻す.....	39
4.8.2. 読取有効/無効.....	39
4.9. ITF-6に関する設定	40
4.9.1. 工場出荷時設定に戻す.....	40
4.9.2. 読取有効/無効.....	40
4.10. Matrix 2 of 5に関する設定	41
4.10.1. 工場出荷時設定に戻す	41
4.10.2. 読取有効/無効.....	41
4.10.3. バーコードの読取長の設定	41
4.10.4. チェック	42
4.11. Code 39に関する設定.....	43
4.11.1. 工場出荷時設定に戻す	43
4.11.2. 読取有効/無効.....	43
4.11.3. バーコードの読取長の設定	43
4.11.4. チェック	44
4.11.5. スタートキャラクターと終了キャラクター	45
4.11.6. Code 39 Full ASCII	45
4.11.7. Code 32 Pharmaceutical (PARAF).....	46
4.12. CodaBarに関する設定	47
4.12.1. 工場出荷時設定に戻す	47
4.12.2. 読取有効/無効.....	47
4.12.3. バーコードの読取長の設定	48
4.12.4. チェック	48
4.12.5. スタートキャラクターとストップキャラクター	49
4.12.6. スタートキャラクターとストップキャラクターのフォーマット.....	49
4.13. Code 93に関する設定.....	50
4.13.1. 工場出荷時設定に戻す	50
4.13.2. 読取有効/無効.....	50
4.13.3. バーコードの読取長の設定	50

4.13.4. チェック	51
4.14. GS1-128 (UCC/EAN-128)に関する設定	52
4.14.1. 工場出荷時設定に戻す	52
4.14.2. 読取有効/無効	52
4.14.3. バーコードの読取長の設定	52
4.14.4. チェックデジットの送信	53
4.14.5. FNC1 の出力	53
4.15. Code11 に関する設定	54
4.15.1. 工場出荷時設定に戻す	54
4.15.2. 読取有効/無効	54
4.15.3. バーコードの読取長の設定	54
4.15.4. チェック	55
4.15.5. チェックデジットの送信	56
4.16. ISBN に関する設定	57
4.16.1. 工場出荷時設定に戻す	57
4.16.2. 読取有効/無効	57
4.16.3. ISBN のフォーマット	57
4.16.4. 2桁のアドオンコード	58
4.16.5. 5桁のアドオンコード	58
4.16.6. アドオンコード追加必須設定	59
4.17. ISSN に関する設定	59
4.17.1. 工場出荷時設定に戻す	59
4.17.2. 読取有効/無効	59
4.17.3. 2桁のアドオンコード	60
4.17.4. 5桁のアドオンコード	60
4.17.5. アドオンコード追加必須設定	61
4.18. Industrial 2 of 5 に関する設定	61
4.18.1. 工場出荷時設定に戻す	61
4.18.2. 読取有効/無効	61
4.18.3. バーコードの読取長の設定	62
4.18.4. チェック	63

4.19.	Plessey に関する設定	63
4.19.1.	工場出荷時設定に戻す	63
4.19.2.	読取有効／無効.....	64
4.19.3.	バーコードの読取長の設定	64
4.19.4.	チェック	65
4.20.	MSI Plessey に関する設定.....	65
4.20.1.	工場出荷時設定に戻す	65
4.20.2.	読取有効／無効.....	66
4.20.3.	バーコードの読取長の設定	66
4.20.4.	チェック	67
4.20.5.	チェックデジットの送信.....	67
4.21.	PDF417 に関する設定	68
4.21.1.	工場出荷時設定に戻す	68
4.21.2.	読取有効／無効.....	68
4.21.3.	バーコードの読取長の設定	68
4.21.4.	PDF417 ダブルコード.....	69
4.21.5.	キャラクターのエンコード方式.....	70
4.21.6.	ECI の出力	70
4.22.	QR Code に関する設定.....	71
4.22.1.	工場出荷時設定に戻す	71
4.22.2.	読取有効／無効.....	71
4.22.3.	バーコードの読取長の設定	71
4.22.4.	ダブル QR コード.....	72
4.22.5.	キャラクターのエンコード方式.....	73
4.22.6.	ECI の出力	73
4.23.	Micro QR Code に関する設定	74
4.23.1.	工場出荷時設定に戻す	74
4.23.2.	読取有効／無効.....	74
4.23.3.	バーコードの読取長の設定	74
4.24.	Data Matrix に関する設定	75
4.24.1.	工場出荷時設定に戻す	75

4.24.2.	読取有効／無効.....	75
4.24.3.	バーコードの読取長の設定	76
4.24.4.	ダブル Data Matrix コード.....	77
4.24.5.	矩形コード	77
4.24.6.	キャラクターのエンコード方式.....	78
4.24.7.	ECI の出力	78
5.	プレフィックス／サフィックスの設定	79
5.1.	一般設定	79
5.1.1.	全てのプレフィックス／サフィックスの設定.....	79
5.2.	プレフィックスの順番	79
5.3.	カスタムプレフィックスの追加.....	80
5.3.1.	カスタムプレフィックスの変更	80
5.4.	AIM ID プレフィックス.....	81
5.5.	Code ID プレフィックス	81
5.5.1.	工場出荷時の Code ID に戻す	81
5.5.2.	Code ID の変更.....	82
5.6.	カスタムサフィックスの追加.....	85
5.6.1.	カスタムサフィックスの変更.....	86
5.7.	終了キャラクターサフィックスの追加.....	86
5.7.1.	終了キャラクターサフィックスの変更.....	87
6.	HID 専用設定.....	88
6.1.	工場出荷時の設定に戻す	88
6.2.	スリープの設定	88
6.3.	スキャン後のビープ設定.....	89
6.4.	電源 ON 時のビープ設定	89
6.5.	文字間の表示遅延時間の設定.....	90
6.6.	標準キーボードレイアウトタイプコード	91
7.	付録.....	92
7.1.	数字バーコード.....	92
7.2.	保存・キャンセル	94
7.3.	AIM ID リスト	95

7.4.	Code ID リスト	96
7.5.	シンボル ID リスト	97
7.6.	ASCII リスト.....	98

1. デフォルト設定に戻す

1.1. 工場出荷状態に戻す



「@FACDEF」バーコードを読み取ると、AsReader のすべてのバーコード設定が工場出荷状態にリセットされます。

この設定バーコードを使用した際は、他のバーコードを読み取る前に一度 AsReader を再起動してください。

1.2. カスタム初期設定登録

「@CUSSAV」バーコードを読み取ると、その時点における全ての AsReader のバーコード設定がカスタム初期設定として保存されます。

「カスタム初期設定」バーコードを読み取ると、あらかじめ登録されたカスタム初期設定に設定されます。



カスタム初期設定

2. デフォルト設定リスト

パラメータ名	デフォルト設定
バーコードパラメータの設定	
全種類のバーコード読取を有効化	-
全種類のバーコード読取を無効化	-
全種類の一次元バーコード読取を有効化	-
全種類の一次元バーコード読取を無効化	-
全種類の二次元バーコード読取を有効化	-
全種類の二次元バーコード読取を無効化	-
括弧で囲むGS1アプリケーション識別子 (GS1 AIs)	Off
Code 128に関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効/無効	有効
バーコードの読取長の設定	最大の長さ : 48 最小の長さ : 1
チェックデジットの送信	送信しない
FNC1の出力	On
EAN-8に関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効/無効	有効
チェックデジットの送信	送信
2桁のアドオンコード	2桁のアドオンコードを読み取らない
5桁のアドオンコード	5桁のアドオンコードを読み取らない
アドオンコードの追加	追加必須ではない
EAN-13に関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効/無効	有効
チェックデジットの送信	送信
2桁のアドオンコード	2桁のアドオンコードを読み取らない

5桁のアドオンコード	5桁のアドオンコードを読み取らない
アドオンコードの追加	追加必須ではない
EAN-13 290でスタートの場合、アドオンコードの追加	追加必須ではない
EAN-13 378／379でスタートの場合、アドオンコードの追加	追加必須ではない
EAN-13 414／419でスタートの場合、アドオンコードの追加	追加必須ではない
EAN-13 434／439でスタートの場合、アドオンコードの追加	追加必須ではない
EAN-13 977でスタートの場合、アドオンコードの追加	追加必須ではない
EAN-13 978でスタートの場合、アドオンコードの追加	追加必須ではない
EAN-13 979でスタートの場合、アドオンコードの追加	追加必須ではない
UPC-Eに関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効／無効	有効
チェックデジットの送信	送信
2桁のアドオンコード	2桁のアドオンコードを読み取らない
5桁のアドオンコード	5桁のアドオンコードを読み取らない
アドオンコードの追加	追加必須ではない
先頭キャラクターの送信	システムキャラクター送信
UPC-Aに関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効／無効	有効
チェックデジットの送信	送信
2桁のアドオンコード	2桁のアドオンコードを読み取らない
5桁のアドオンコード	5桁のアドオンコードを読み取らない
アドオンコードの追加	追加必須ではない
先頭キャラクターの送信	システムキャラクター送信
Interleaved 2 of 5に関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効／無効	有効
バーコードの読取長の設定	最大の長さ : 80 最小の長さ : 6
チェック	無効

Febraban	無効
ITF-14に関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効/無効	無効
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効/無効	無効
Matrix 2 of 5	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効/無効	有効
バーコードの読取長の設定	最大の長さ : 80 最小の長さ : 4
チェック	無効
Code 39に関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効/無効	有効
バーコードの読取長の設定	最大の長さ : 48 最小の長さ : 1
チェック	無効
スタートキャラクターと終了キャラクター	送信しない
Code 39 Full ASCII	無効
Code 32 Pharmaceutical (PARAF) 読取有効/無効	無効
Code 32 のプレフィックス	無効
Code 32のスタートキャラクターと終了キャラクター	送信しない
Code 32のチェックデジット	送信しない
Codabarに関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効/無効	有効
バーコードの読取長の設定	最大の長さ : 60 最小の長さ : 2
チェック	無効
スタートキャラクターと終了キャラクター	送信しない

スタートキャラクターと終了キャラクターのフォーマット	ABCD/ABCD
Code 93に関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効/無効	無効
バーコードの読取長の設定	最大の長さ : 48 最小の長さ : 1
チェック	有効、チェックデジットを送信しない
GS1-128(UCC/EAN-128)	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効/無効	有効
バーコードの読取長の設定	最大の長さ : 48 最小の長さ : 1
チェックデジットの送信	送信しない
FNC1の出力	On
Code 11に関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効/無効	無効
バーコードの読取長の設定	最大の長さ : 48 最小の長さ : 4
チェック	無効
チェックデジットの送信	送信
ISBNに関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効/無効	無効
ISBNのフォーマット	ISBN-10
2桁のアドオンコード	2桁のアドオンコードを読み取らない
5桁のアドオンコード	5桁のアドオンコードを読み取らない
アドオンコードの追加	追加必須ではない
ISSNに関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効/無効	無効

2桁のアドオンコード	2桁のアドオンコードを読み取らない
5桁のアドオンコード	5桁のアドオンコードを読み取らない
アドオンコードの追加	追加必須ではない
Industrial 25に関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効/無効	無効
バーコードの読取長の設定	最大の長さ : 48 最小の長さ : 6
チェック	無効
Plesseyに関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効/無効	無効
バーコードの読取長の設定	最大の長さ : 48 最小の長さ : 4
チェック	無効
MSI-Plesseyに関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効/無効	無効
バーコードの読取長の設定	最大の長さ : 48 最小の長さ : 4
チェック	チェックデジット1桁 : MOD10
チェックデジットの送信	送信
PDF417に関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効/無効	有効
バーコードの読取長の設定	最大の長さ : 6144 最小の長さ : 1
ダブルPDF417コード	シングルPDF417コードを読取
キャラクターのエンコード方式	デフォルト
ECIの出力	有効
QR Code	

工場出荷時設定に戻す	-
読取有効／無効	有効
バーコードの読取長の設定	最大の長さ : 6144 最小の長さ : 1
ダブルQRコード	シングルQRコードを読取
キャラクターのエンコード方式	デフォルト
ECIの出力	有効
Micro QR Codeに関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効／無効	無効
バーコードの読取長の設定	最大の長さ : 6144 最小の長さ : 1
Data Matrixに関する設定	
工場出荷時設定に戻す	-
読取有効／無効	有効
バーコードの読取長の設定	最大の長さ : 6144 最小の長さ : 1
ダブルData Matrixコード	シングル読取
矩形コード	有効
キャラクターのエンコード方式	デフォルト
ECIの出力	有効

3. 基本設定

3.1. 読取エリア

全エリアの読取：読取範囲内の全てのバーコードを読み取り、最初に読み取ったバーコードのデータのみを送信します。

中心エリアの読取：読取エリア内中心のバーコードのみ読み取り、データを送信します。



*全エリアの読取



中心エリアの読取

4. バーコードパラメータの設定

4.1. 一般設定

4.1.1. 全種類のバーコード読取を有効/無効にする

「@ALLENA1」を読み取ると、対応する全てのバーコードを読み取ることができます。



「@ALLENA0」を読み取ると、設定バーコード以外のバーコードが全て読み取ることができなくなります。



4.1.2. 全種類の一次元バーコード読取を有効/無効にする

「@ALL1DC1」を読み取ると、対応する全ての一次元バーコードを読み取ることができます。



「@ALL1DC0」を読み取ると、設定バーコード以外の全ての一次元バーコードを読み取ることができなくなります。



4.1.3. 全種類の二次元バーコード読取を有効/無効にする

「@ALL2DC1」を読み取ると、対応する全ての二次元バーコードを読み取ることができます。



「@ALL2DC0」を読み取ると、設定バーコード以外に全ての二次元バーコードを読み取ることができなくなります。



4.1.4. GS1アプリケーション識別子 (GS1 AIs) に括弧を追加する

「GS1 アプリケーション識別子」を On にすると、GS1 アプリケーション識別子の左右に括弧を追加します。



*Off



On

サンプルバーコード：



出力されたサンプルバーコードデータは、**GS1 アプリケーション識別子**を On にすると、「(01)00614141999996(10)10ABCEDF123456」になります。
Off にすると、「01006141419999961010ABCEDF123456」になります。

4.2. Code 128 に関する設定

4.2.1. 工場出荷時設定に戻す



4.2.2. 読取有効／無効



*有効



無効

4.2.3. バーコードの読取長の設定

設定した最小から最大の間の長さの Code 128 バーコードを読み取るように設定できます。



最小の長さ



最大の長さ

注：全ての一次元バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。

最大の長さが最小の長さと同じ場合、この長さのバーコードのみを読み取ることができます。

例：最小の長さを 8 バイト、最大の長さを 12 バイトの Code128 バーコードを読み取るように設定：

- | | |
|-----------------------------------|---------------------|
| 1. 「設定開始」バーコードを読み取る | 6. 数字バーコード「1」を読み取る |
| 2. 「最小の長さ」バーコードを読み取る | 7. 数字バーコード「2」を読み取る |
| 3. 数字バーコード「8」を読み取る（付録-数字バーコードを参照） | 8. 「保存」バーコードを読み取る |
| 4. 「保存」バーコードを読み取る（付録-保存やキャンセルを参照） | 9. 「設定完了」バーコードを読み取る |
| 5. 「最大の長さ」バーコードを読み取る | |

4.2.4. チェックデジットの送信



@128CHK2

送信



@128CHK1

*送信しない

4.2.5. FNC1の出力



@128FNC0

Off



@128FNC1

*On

4.3. EAN-8 に関する設定

4.3.1. 工場出荷時設定に戻す



4.3.2. 読取有効／無効



*有効



無効

4.3.3. チェックデジットの送信

EAN-8 バーコードは 8 バイトに固定され、最後の 1 バイトはチェックデジットとなります。



*送信



送信しない

4.3.4. 2桁のアドオンコード

2 桁のアドオンコードは EAN-8 バーコードの最後に追加された 2 桁の数字バーコードです。下図は 2 桁のアドオンコードを追加したバーコードです（左側は EAN-8 バーコード、右側は 2 桁のアドオンコード）：



*2 桁のアドオンコードを読み取らない



2 桁のアドオンコードを読み取る

4.3.5. 5桁のアドオンコード

5 桁のアドオンコードは EAN-8 バーコードの最後に追加された 5 桁の数字バーコードです。下図は 5 桁のアドオンコードを追加したバーコードです（左側は EAN-8 バーコード、右側は 5 桁のアドオンコード）：



*5 桁のアドオンコードを読み取らない



5 桁のアドオンコードを読み取る

注：「2桁のアドオンコードを読み取る」または「5桁のアドオンコードを読み取る」を設定した場合、通常のバーコードもアドオンコードを追加したバーコードも読み取ることができます。「2桁のアドオンコードを読み取らない」または「5桁のアドオンコードを読み取らない」を設定した場合、通常のバーコードデータを読み取ることができますが、アドオンコードを読み取ることができません。

4.3.6. アドオンコードの追加

「2桁のアドオンコードを読み取る」または「5桁のアドオンコードを読み取る」を設定後、「アドオンコードの追加」を「追加必須」に設定した場合、アドオンコードを含む EAN-8 バーコードしか読み取ることができません。



*追加必須ではない



追加必須

4.4. EAN-13 に関する設定

4.4.1. 工場出荷時設定に戻す



4.4.2. 読取有効／無効



*有効



無効

4.4.3. チェックデジットの送信



*送信



送信しない

4.4.4. 2桁のアドオンコード

2桁のアドオンコードはEAN-13バーコードの最後に追加された2桁の数字バーコードです。下図は2桁のアドオンコードを追加されたバーコードです（左側はEAN-13バーコード、右側は2桁のアドオンコード）：



*2桁のアドオンコードを読み取らない



2桁のアドオンコードを読み取る

4.4.5. 5桁のアドオンコード

5 桁のアドオンコードは EAN-13 バーコードの最後に追加された 5 桁の数字バーコードです。下図は 5 桁のアドオンコードを追加されたバーコードです（左側は EAN-13 バーコード、右側は 5 桁のアドオンコード）：



*5 桁のアドオンコードを読み取らない



5 桁のアドオンコードを読み取る

注：「2 桁のアドオンコードを読み取る」または「5 桁のアドオンコードを読み取る」を設定した場合、通常のバーコードもアドオンコードを追加したバーコードも読み取ることができます。

「2 桁のアドオンコードを読み取らない」または「5 桁のアドオンコードを読み取らない」を設定した場合、通常のバーコードデータを読み取ることができますが、アドオンコードを読み取ることができません。

4.4.6. アドオンコードの追加

「2 桁のアドオンコードを読み取る」または「5 桁のアドオンコードを読み取る」を設定後、「アドオンコードの追加」を「追加必須」に設定した場合、アドオンコードを含む EAN-13 バーコードのみ読み取ります。



*追加必須ではない



追加必須

4.4.7. EAN-13 の先頭が290の場合、アドオンコードを追加

追加必須：先頭が 290 の EAN-13 バーコードを読み取る場合、アドオンコードを追加した EAN-13 バーコードのみ読み取ります。

追加必須ではない：アドオンコードの追加を「追加必須ではない」に設定した場合、全ての EAN-13 バーコードを読み取ることができます。



*追加必須ではない



追加必須

4.4.8. EAN-13の先頭が378／379の場合、アドオンコードを追加

追加必須：先頭が 378 または 379 の EAN-13 バーコードを読み取る場合、アドオンコードを追加した EAN-13 バーコードのみ読み取ります。

追加必須ではない：アドオンコードの追加を「追加必須ではない」に設定した場合、全ての EAN-13 バーコードを読み取ることができます。



*追加必須ではない



追加必須

4.4.9. EAN-13 の先頭が414／419の場合、アドオンコードを追加

追加必須：先頭が 414 または 419 の EAN-13 バーコードを読み取る場合、アドオンコードを追加した EAN-13 バーコードのみ読み取ります。

追加必須ではない：アドオンコードの追加を「追加必須ではない」に設定した場合、全ての EAN-13 バーコードを読み取ることができます。



*追加必須ではない



追加必須

4.4.10. EAN-13 の先頭が434／439の場合、アドオンコードを追加

追加必須：先頭が 434 または 439 の EAN-13 バーコードを読み取る場合、アドオンコードを追加した EAN-13 バーコードのみ読み取ります。

追加必須ではない：アドオンコードの追加を「追加必須ではない」に設定した場合、全ての EAN-13 バーコードを読み取りすることができます。



*追加必須ではない



追加必須

4.4.11. EAN-13 の先頭が977の場合、アドオンコードを追加

追加必須：先頭が 977 の EAN-13 バーコードを読み取る場合、アドオンコードを追加した EAN-13 バーコードのみ読み取ります。

追加必須ではない：アドオンコードの追加を追加必須ではないに設定した場合、全ての EAN-13 バーコードを読み取ることができます。



*追加必須ではない



追加必須

4.4.12. EAN-13 の先頭が978の場合、アドオンコードを追加

追加必須：先頭が 978 の EAN-13 バーコードを読み取る場合、アドオンコードを追加した EAN-13 バーコードのみ読み取ります。

追加必須ではない：アドオンコードの追加を追加必須ではないに設定した場合、全ての EAN-13 バーコードを読み取ることができます。



*追加必須ではない



追加必須

4.4.13. EAN-13 の先頭が979の場合、アドオンコードを追加

追加必須 : 979 でスタートの EAN-13 バーコードを読み取る場合、アドオンコードを追加した EAN-13 バーコードしか読み取れません。

追加必須ではない : アドオンコードの追加を追加必須ではないに設定した場合、全ての EAN-13 バーコードを読み取ることができます。



* 追加必須ではない



追加必須

4.5. UPC-E に関する設定

4.5.1. 工場出荷時設定に戻す



4.5.2. 読取有効／無効



* 有効



無効

4.5.3. チェックデジットの送信



@UPECHK2

*送信



@UPECHK1

送信しない

4.5.4. 2桁のアドオンコード

2 桁のアドオンコードはバーコードの最後に追加された 2 桁の数字バーコードです。下図は 2 桁のアドオンコードを追加されたバーコードです（左側は UPC-E バーコード、右側は 2 桁のアドオンコード）：



@UPEAD20

*2 桁のアドオンコードを読み取らない



@UPEAD21

2 桁のアドオンコードを読み取る

4.5.5. 5桁のアドオンコード

5 桁のアドオンコードは UPC-E バーコードの最後に追加された 5 桁の数字バーコードです。下図は 5 桁のアドオンコードを追加されたバーコードです（左側は UPC-E バーコード、右側は 5 桁のアドオンコード）：



*5 桁のアドオンコードを読み取らない



5 桁のアドオンコードを読み取る

注：「2 桁のアドオンコードを読み取る」または「5 桁のアドオンコードを読み取る」を設定した場合、通常のバーコードもアドオンコードを追加したバーコードも読み取ることができます。

「2 桁のアドオンコードを読み取らない」または「5 桁のアドオンコードを読み取らない」を設定した場合、通常のバーコードデータを読み取ることができますが、アドオンコードを読み取ることができません。

4.5.6. アドオンコードの追加

「2 桁のアドオンコードを読み取る」または「5 桁のアドオンコードを読み取る」を設定後、「アドオンコードの追加」を「追加必須」に設定した場合、アドオンコードを含む UPC-E バーコードのみ読み取ります。



*追加必須ではない



追加必須

4.5.7. 先頭キャラクターの送信

先頭キャラクターは UPC キャラクターの一部です。国コード（アメリカ：0）とシステムキャラクター（0または1）が含まれています。



*システムキャラクター送信



送信しない



国コード+システムキャラクター送信

4.6. UPC-A に関する設定

4.6.1. 工場出荷時設定に戻す



4.6.2. 読取有効／無効



*有効



無効

4.6.3. チェックデジットの送信



@UPACHK2

*送信



@UPACHK1

送信しない

4.6.4. 2桁のアドオンコード

2桁のアドオンコードはUPC-Aバーコードの最後に追加された2桁の数字バーコードです。下図は2桁のアドオンコードが追加されたバーコードです（左側はUPC-Aバーコード、右側は2桁のアドオンコード）：



@UPAAD20

*2桁のアドオンコードを読み取らない



@UPAAD21

2桁のアドオンコードを読み取る

4.6.5. 5桁のアドオンコード

5 桁のアドオンコードは UPC-A バーコードの最後に追加された 5 桁の数字バーコードです。下図は 5 桁のアドオンコードを追加されたバーコードです（左側は UPC-A バーコード、右側は 5 桁のアドオンコード）：



*5 桁のアドオンコードを読み取らない



5 桁のアドオンコードを読み取る

注：「2 桁のアドオンコードを読み取る」または「5 桁のアドオンコードを読み取る」を設定した場合、通常のバーコードもアドオンコードを追加したバーコードも読み取ることができます。

「2 桁のアドオンコードを読み取らない」または「5 桁のアドオンコードを読み取らない」を設定した場合、通常のバーコードデータを読み取ることができますが、アドオンコードを読み取ることができません。

4.6.6. アドオンコードの追加

「2 桁のアドオンコードを読み取る」または「5 桁のアドオンコードを読み取る」を設定後に、「アドオンコードの追加」を「追加必須」に設定した場合、アドオンコードを含む UPC-A バーコードのみ読み取ります。



*追加必須ではない



追加必須

4.6.7. 先頭キャラクターの送信

先頭キャラクターは UPC キャラクターの一部であり、国コード（アメリカ：0）とシステムキャラクター（0または1）を含みます。



@UPAPRE0

送信しない



@UPAPRE1

*システムキャラクター送信



@UPAPRE2

国コード+システムキャラクター送信

4.7. Interleaved 2 of 5 に関する設定

4.7.1. 工場出荷時設定に戻す



@I25DEF

4.7.2. 読取有効／無効



@I25ENA1

*有効



@I25ENA0

無効

4.7.3. バーコードの読取長の設定

設定した最小から最大の間の長さの Interleaved 2 of 5 バーコードを読み取ります。



最小の長さ



最大の長さ

注：全ての一次バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大の長さが最小の長さと同じ場合、その長さのみ読み取ります。

例：

最小の長さを 8 バイト、最大の長さを 12 バイトの Interleaved 2 of 5 バーコードを読み取るように設定：

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 「設定開始」バーコードを読み取る | 6. 数字バーコード「1」を読み取る |
| 2. 「最小の長さ」バーコードを読み取る | 7. 数字バーコード「2」を読み取る |
| 3. 数字バーコード「8」を読み取る
(付録-数字バーコードを参照) | 8. 「保存」バーコードを読み取る |
| 4. 「保存」バーコードを読み取る
(付録-保存やキャンセルを参照) | 9. 「設定完了」バーコードを読み取る |
| 5. 「最大の長さ」バーコードを読み取る | |

4.7.4. チェック

Interleaved 2 of 5 のバーコードデータはチェックデジットを必ずしも含みません。チェックデジットがある場合、最後の 1 桁がチェックデジットとなります。チェックデジットはチェックデジット以外の全てのデータを計算した値で、データの正確性をチェックできます。

無効：全てのバーコードデータを送信します。

有効、チェックデジットを送信しない：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジット以外の全てのデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。

有効、チェックデジットを送信：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジットを含めてバーコードデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。

Interleaved 2 of 5 バーコードはチェックデジットを含めて、バーコードデータは偶数桁になります。もしデータの桁数が奇数桁の場合、データの最初に 0 を補充されます。



* 無効



有効、チェックデジットを送信しない



有効、チェックデジットを送信

注：有効、チェックデジットを送信しないに設定した場合、バーコードデータの長さから 1 バイトを引いた長さが、最小の読取長より小さいとき、読み取り失敗になります。

例：Interleaved 2 of 5 の最小の読取長を 4 バイト、チェックデジットを送信しないに設定した場合、長さが 4 バイトの Interleaved 2 of 5 バーコードを読み取ると、読取失敗になります。

4.7.5. Febraban



@I25FBB0

*無効



@I25FBB1

有効、情報を追加しない



@I25FBB2

有効、情報を追加

4.8. ITF-14 に関する設定

4.8.1. 工場出荷時設定に戻す



@I14DEF

4.8.2. 読取有効／無効



@I14ENA0

*無効



@I14ENA1

有効、チェックデジットを送信しない



@I14ENA2

有効、チェックデジットを送信

注：ITF-14 を読取有効、Interleaved 2 of 5 を読取無効に設定した場合、ITF-14 優先のルールで、長さは 14 バイト且つ最後の 1 バイトがチェックデジットの Interleaved 2 of 5 バーコードを読み取り、その他のタイプの Interleaved 2 of 5 バーコードを読み取らない場合があります。

4.9. ITF-6 に関する設定

4.9.1. 工場出荷時設定に戻す



4.9.2. 読取有効／無効



* 無効



有効、チェックデジットを送信しない



有効、チェックデジットを送信

注：ITF-6 を読取有効、Interleaved 2 of 5 を読取無効に設定した場合、ITF-6 優先のルールで、長さは 6 バイト且つ最後の 1 バイトがチェックデジットの Interleaved 2 of 5 バーコードを読み取り、その他のタイプの Interleaved 2 of 5 バーコードを読み取らない場合があります。

4.10. Matrix 2 of 5 に関する設定

4.10.1. 工場出荷時設定に戻す



4.10.2. 読取有効／無効



*有効



無効

4.10.3. バーコードの読取長の設定

設定した最小から最大の間の長さの Matrix 2 of 5 バーコードを読み取ります。



最小の長さ



最大の長さ

注：全ての一次元バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大の長さと最小の長さが同じ場合、その長さのみ読み取ります。

例：最小の長さを 8 バイト、最大の長さを 12 バイトの Matrix 2 of 5 バーコードを読み取るように設定：

1. 「設定開始」バーコードを読み取る
2. 「最小の長さ」バーコードを読み取る
3. 数字バーコード「8」を読み取る
(付録-数字バーコードを参照)
4. 「保存」バーコードを読み取る
(付録-保存やキャンセルを参照)
5. 「最大の長さ」バーコードを読み取る
6. 数字バーコード「1」を読み取る
7. 数字バーコード「2」を読み取る
8. 「保存」バーコードを読み取る
9. 「設定完了」バーコードを読み取る

4.10.4. チェック

Matrix 2 of 5 のバーコードデータはチェックデジットを必ずしも含みません。チェックデジットがある場合、最後の 1 桁になります。チェックデジットはチェックデジット以外の全てのデータを計算した値で、データの正確性をチェックできます。

無効：全てのバーコードデータを送信します。

有効、チェックデジットを送信しない：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジット以外の全てのデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。

有効、チェックデジットを送信：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジットを含めてバーコードデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。



*無効



有効、チェックデジットを送信しない



有効、チェックデジットを送信

注：有効、チェックデジットを送信しないに設定した場合、バーコードデータの長さから 1 バイトを引いてから、最小の読取長より小さいとき、読取失敗になります。

例：Matrix 2 of 5 の最小の読取長を 4 バイトに設定し、チェックデジットを送信しない場合、長さが 4 バイトの Matrix 2 of 5 バーコードを読み取ると、読取失敗になります。

4.11. Code 39 に関する設定

4.11.1. 工場出荷時設定に戻す



4.11.2. 読取有効／無効



*有効



無効

4.11.3. バーコードの読取長の設定

設定した最小から最大間の長さの Code 39 バーコードを読み取ります。



最小の長さ



最大の長さ

注：全ての一次元バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大の長さと最小の長さが同じ場合、その長さのみ読み取ります。

例：

最小の長さを 8 バイト、最大の長さを 12 バイトの Code 39 バーコードを読み取るように設定：

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 「設定開始」バーコードを読み取る | 6. 数字バーコード「1」を読み取る |
| 2. 「最小の長さ」バーコードを読み取る | 7. 数字バーコード「2」を読み取る |
| 3. 数字バーコード「8」を読み取る
(付録-数字バーコードを参照) | 8. 「保存」バーコードを読み取る |
| 4. 「保存」バーコードを読み取る
(付録-保存やキャンセルを参照) | 9. 「設定完了」バーコードを読み取る |
| 5. 「最大の長さ」バーコードを読み取る | |

4.11.4. チェック

Code 39 のバーコードデータはチェックデジットを必ずしも含みません。チェックデジットがある場合、最後の 1 桁がチェックデジットです。チェックデジットはチェックデジット以外の全てのデータを計算した値で、データの正確性をチェックできます。

無効：全てのバーコードデータを送信します。

有効、チェックデジットを送信しない：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジット以外の全てのデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。

有効、チェックデジットを送信：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジットを含めてバーコードデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。



*無効



有効、チェックデジットを送信しない



有効、チェックデジットを送信

注：有効、チェックデジットを送信しないに設定した場合、バーコードデータの長さから 1 バイトを引いてから、最小の読取長より小さいとき、読取失敗になります。

例：Code 39 の最小の読取長を 4 バイトに設定し、チェックデジットを送信しない場合、長さが 4 バイトの Code 39 バーコードを読み取ると、読取失敗になります。

4.11.5. スタートキャラクターと終了キャラクター

読取成功後にスタートキャラクターと終了キャラクターも送信するかどうかを設定できます。



@C39TSC0

*送信しない



@C39TSC1

送信

4.11.6. Code 39 Full ASCII

有効に設定する場合、全ての ASCII キャラクターを読み取ることができます。



@C39ASC0

*無効



@C39ASC1

有効

4.11.7. Code 32 Pharmaceutical (PARAF)

Code 32 Pharmaceutical はイタリアの薬局で使用されている Code 39 の一つの形式です。

Code 32 のフォーマット : * + A + 8 桁の数字 + 1 桁チェックデジット + *

4.11.7.1. 読取有効/無効



@C39E320

*無効



@C39E321

有効

注 : Code 39 を読取有効に設定、且つチェックデジットを検証しない場合のみ Code 32 Pharmaceutical を読み取ることができます。

4.11.7.2. Code 32 のプレフィックス



@C39S320

*無効



@C39S321

有効

4.11.7.3. Code 32 のスタートキャラクターと終了キャラクター



@C39T320

*送信しない



@C39T321

送信

4.11.7.4. Code 32 のチェックデジット



@C39C320

*送信しない



@C39C321

送信

4.12. CodaBar に関する設定

4.12.1. 工場出荷時設定に戻す



@CBADEF

4.12.2. 読取有効／無効



@CBAENA1

*有効



@CBAENA0

無効

4.12.3. バーコードの読取長の設定

設定した最小から最大の間の長さの Codabar バーコードを読み取ります。



最小の長さ



最大の長さ

注：全ての一次バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大の長さが最小の長さと同じ場合、その長さのみ読み取ります。

4.12.4. チェック

Codabar のバーコードデータはチェックデジットを必ずしも含まないです。チェックデジットが含まれる場合、最後の 1 桁がチェックデジットです。チェックデジットはチェックデジット以外の全てのデータを計算した値で、データの正確性をチェックできます。

無効：全てのバーコードデータを送信します。

有効、チェックデジットを送信しない：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジット以外の全てのデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。

有効、チェックデジットを送信：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジットを含めてバーコードデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。



*無効



有効、チェックデジットを送信しない



有効、チェックデジットを送信

注：有効、チェックデジットを送信しないに設定した場合、バーコードデータの長さから 1 バイトを引いてから、最小の読取長より小さいとき、読取失敗になります。

例：Codabar の最小の読取長を 4 バイトに設定し、チェックデジットを送信しない場合、長さが 4 バイトの Codabar バーコードを読み取ると、読取失敗になります。

4.12.5. スタートキャラクターとストップキャラクター

Codabar の両端のデータはスタートキャラクターと終了キャラクターです。スタートキャラクターとストップキャラクターは A、B、C、D 中の一つです。バーコードを読取時にスタートキャラクターとストップキャラクターを送信するかどうかを設定します。



@CBATSC0

*送信しない



@CBATSC1

送信

4.12.6. スタートキャラクターとストップキャラクターのフォーマット



@CBASCF0

*ABCD/ABCD



@CBASCF1

ABCD/TN*E



@CBASCF2

abcd/abcd



@CBASCF3

abcd/tn*e

4.13. Code 93 に関する設定

4.13.1. 工場出荷時設定に戻す



4.13.2. 読取有効／無効



有効



*無効

4.13.3. バーコードの読取長の設定

設定した最小から最大間の長さの Code 93 バーコードを読み取ります。



最小の長さ



最大の長さ

注：全ての一次バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大の長さが最小の長さと同じ場合、この長さのバーコードのみ読み取ります。

例：最小の長さを 8 バイト、最大の長さを 12 バイトの Code 93 バーコードを読み取るように設定：

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 「設定開始」バーコードを読み取る | 6. 数字バーコード「1」を読み取る |
| 2. 「最小の長さ」バーコードを読み取る | 7. 数字バーコード「2」を読み取る |
| 3. 数字バーコード「8」を読み取る
(付録-数字バーコードを参照) | 8. 「保存」バーコードを読み取る |
| 4. 「保存」バーコードを読み取る
(付録-保存やキャンセルを参照) | 9. 「設定完了」バーコードを読み取る |
| 5. 「最大の長さ」バーコードを読み取る | |

4.13.4. チェック

Code 93 のバーコードデータはチェックデジットを必ずしも含まないです。チェックデジットが含まれる場合、最後の 2 桁がチェックデジットです。チェックデジットはチェックデジット以外の全てのデータを計算した値で、データの正確性をチェックできます。

無効：全てのバーコードデータを送信します。

有効、チェックデジットを送信しない：バーコードの最後の 2 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジット以外の全てのデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。

有効、チェックデジットを送信：バーコードの最後の 2 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジットを含めてバーコードデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。



無効



* 有効、チェックデジットを送信しない



有効、チェックデジットを送信

注：有効 チェックデジットを送信しないに設定した場合、バーコードデータの長さから 2 バイトを引いた長さが、最小の読取長より小さい場合、読取失敗になります。

例：Code 93 の最小の読取長を 4 バイトに設定し、チェックデジットを送信しない場合、長さが 4 バイトの Code 93 バーコードを読み取ると、読取失敗になります。

4.14. GS1-128 (UCC/EAN-128)に関する設定

4.14.1. 工場出荷時設定に戻す



@GS1DEF

4.14.2. 読取有効／無効



@GS1ENA1

*有効

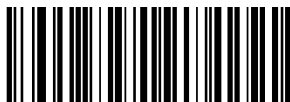


@GS1ENA0

無効

4.14.3. バーコードの読取長の設定

長さは設定した最小から最大間の GS1-128 バーコードを読み取れるように設定できます。



@GS1MIN

最小の長さ



@GS1MAX

最大の長さ

注：全ての一次バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大の長さが最小の長さと同じ場合、この長さのバーコードのみ読み取ります。

例：

最小の長さを 8 バイト、最大の長さを 12 バイトの GS1-128 バーコードを読み取るように設定：

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 「設定開始」バーコードを読み取る | 6. 数字バーコード「1」を読み取る |
| 2. 「最小の長さ」バーコードを読み取る | 7. 数字バーコード「2」を読み取る |
| 3. 数字バーコード「8」を読み取る
(付録-数字バーコードを参照) | 8. 「保存」バーコードを読み取る |
| 4. 「保存」バーコードを読み取る
(付録-保存やキャンセルを参照) | 9. 「設定完了」バーコードを読み取る |
| 5. 「最大の長さ」バーコードを読み取る | |

4.14.4. チェックデジットの送信



送信



*送信しない

4.14.5. FNC1の出力



Off



*On

4.15. Code11 に関する設定

4.15.1. 工場出荷時設定に戻す



4.15.2. 読取有効／無効



有効



*無効

4.15.3. バーコードの読取長の設定

設定した最小から最大の間の長さの Code 11 バーコードを読み取ります。



最小の長さ



最大の長さ

注：全ての一次元バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大の長さが最小の長さと同じ場合、この長さのバーコードのみ読み取ります。

例：

最小の長さを 8 バイト、最大の長さを 12 バイトの Code 11 バーコードを読み取るように設定：

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 「設定開始」バーコードを読み取る | 6. 数字バーコード「1」を読み取る |
| 2. 「最小の長さ」バーコードを読み取る | 7. 数字バーコード「2」を読み取る |
| 3. 数字バーコード「8」を読み取る
(付録-数字バーコードを参照) | 8. 「保存」バーコードを読み取る |
| 4. 「保存」バーコードを読み取る
(付録-保存やキャンセルを参照) | 9. 「設定完了」バーコードを読み取る |
| 5. 「最大の長さ」バーコードを読み取る | |

4.15.4. チェック

Code 11 のバーコードデータはチェックデジットを必ずしも含みません。チェックデジットが含まれる場合、最後の 1 桁または 2 桁がチェックデジットです。チェックデジットはチェックデジット以外の全てのデータを計算した値で、データの正確性をチェックできます。

無効に設定：全てのバーコードデータが出力されます。



@C11CHK0

*無効



@C11CHK1

チェックデジット 1 桁 : MOD11



@C11CHK2

チェックデジット 2 桁 : MOD11/MOD11



@C11CHK3

チェックデジット 2 桁 : MOD11/MOD9



@C11CHK4

MOD11 シングルチェック (Len≤10),
MOD11/MOD11 ダブルチェック(Len>10)



@C11CHK5

MOD11 シングルチェック(Len≤10),
MOD11/MOD9 ダブルチェック(Len>10)

4.15.5. チェックデジットの送信



@C11TCK0

送信しない



@C11TCK1

*送信

注：有効、チェックデジットを送信しないに設定した場合、バーコードデータの長さからチェックデジットを引いてから、最小のより小さいとき、読取失敗になります。

例：Code 11 の最小の読取長を 4 バイトに設定、チェックデジットを送信しない場合、長さが 4 バイトの Code 11 バーコードを読み取ると、読取失敗になります。

4.16. ISBNに関する設定

4.16.1. 工場出荷時設定に戻す



4.16.2. 読取有効／無効



有効



*無効

4.16.3. ISBNのフォーマット



*ISBN-10



ISBN-13

4.16.4. 2桁のアドオンコード

2 桁のアドオンコードは ISBN バーコードの最後に追加された 2 桁の数字バーコードです。下図は 2 桁のアドオンコードが追加されたバーコードです（左側は ISBN バーコード、右側は 2 桁のアドオンコード）：



*2 桁のアドオンコードを読み取らない



2 桁のアドオンコードを読み取る

4.16.5. 5桁のアドオンコード

5 桁のアドオンコードは ISBN バーコードの最後に追加された 5 桁の数字バーコードです。下図は 5 桁のアドオンコードが追加されたバーコードです（左側は ISBN バーコード、右側は 5 桁のアドオンコード）：



*5 桁のアドオンコードを読み取らない



5 桁のアドオンコードを読み取る

注：「2桁のアドオンコードを読み取る」または「5桁のアドオンコードを読み取る」を設定した場合、通常のバーコードデータもアドオンコードを追加したバーコードも読み取ることができます。

「2桁のアドオンコードを読み取らない」または「5桁のアドオンコードを読み取らない」を設定した場合、通常のバーコードデータを読み取ることができますが、アドオンコードは読み取ることができません。

4.16.6. アドオンコード追加必須設定

「2桁のアドオンコードを読み取る」または「5桁のアドオンコードを読み取る」を設定後に、「追加必須」を設定した場合、アドオンコードを含む ISBN バーコードのみ読み取ります。



*追加必須ではない



追加必須

4.17. ISSN に関する設定

4.17.1. 工場出荷時設定に戻す



4.17.2. 読取有効／無効



有効



*無効

4.17.3. 2桁のアドオンコード

2 桁のアドオンコードは ISSN バーコードの最後に追加された 2 桁の数字バーコードです。下図は 2 桁のアドオンコードを追加された ISSN バーコードです（左側は ISSN バーコード、右側は 2 桁のアドオンコード）：



*2 桁のアドオンコードを読み取らない



2 桁のアドオンコードを読み取る

4.17.4. 5桁のアドオンコード

5 桁のアドオンコードは ISSN バーコードの最後に追加された 5 桁の数字バーコードです。下図は 5 桁のアドオンコードを追加されたバーコードです（左側は ISSN バーコード、右側は 5 桁の ISSN コード）：



*5 桁の ISSN コードを読み取らない



5 桁の ISSN コードを読み取る

注：「2桁のアドオンコードを読み取る」または「5桁のアドオンコードを読み取る」を設定した場合、通常のバーコードもアドオンコードを追加したバーコードも読み取ることができます。

「2桁のアドオンコードを読み取らない」または「5桁のアドオンコードを読み取らない」を設定した場合、通常のバーコードデータを読み取ることができますが、アドオンコードは読み取ることができません。

4.17.5. アドオンコード追加必須設定

「2桁のアドオンコードを読み取る」または「5桁のアドオンコードを読み取る」を設定後、「アドオンコードの追加」を「追加必須」に設定した場合、アドオンコードを含む ISSN バーコードのみ読み取ります。



*追加必須ではない



追加必須

4.18. Industrial 2 of 5 に関する設定

4.18.1. 工場出荷時設定に戻す



4.18.2. 読取有効／無効



有効



*無効

4.18.3. バーコードの読取長の設定

設定した最小から最大の間の長さの Industrial 2 of 5 バーコードを読み取ります。



最小の長さ



最大の長さ

注：全ての一次バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大の長さが最小の長さと同じ場合、この長さのバーコードのみ読み取りすることができます。

例：

最小の長さを 8 バイト、最大の長さを 12 バイトの Industrial 25 バーコードを読み取るように設定：

1. 「設定開始」バーコードを読み取る
2. 「最小の長さ」バーコードを読み取る
3. 数字バーコード「8」を読み取る
(付録-数字バーコードを参照)
4. 「保存」バーコードを読み取る
(付録-保存やキャンセルを参照)
5. 「最大の長さ」バーコードを読み取る
6. 数字バーコード「1」を読み取る
7. 数字バーコード「2」を読み取る
8. 「保存」バーコードを読み取る
9. 「設定完了」バーコードを読み取る

4.18.4. チェック

Industrial 25 のバーコードデータにチェックデジットが含まれる場合、最後の 1 桁がチェックデジットです。チェックデジットはチェックデジット以外の全てのデータを計算した値で、データの正確性をチェックできます。

無効：全てのバーコードデータを送信します。

有効、チェックデジットを送信しない：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジット以外の全てのデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。

有効、チェックデジットを送信：バーコードの最後の 1 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジットを含めてバーコードデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。



*無効



有効、チェックデジットを送信しない



有効、チェックデジットを送信

注：有効、チェックデジットを送信しないに設定した場合、バーコードデータの長さから 1 バイトのチェックデジットを引いた値が、最小の読取長より小さいとき、読取失敗になります。

例：Industrial 25 の最小の読取長を 4 バイトに設定し、チェックデジットを送信しない場合、長さが 4 バイトの Industrial 25 バーコードを読み取ると、読取失敗になります。

4.19. Plessey に関する設定

4.19.1. 工場出荷時設定に戻す



4.19.2. 読取有効／無効



@PLYENA1

有効



@PLYENA0

*無効

4.19.3. バーコードの読取長の設定

設定した最小から最大の間の長さの Plessey バーコードを読み取ります。



@PLYMIN

最小の長さ



@PLYMAX

最大の長さ

注：全ての一次元バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大の長さが最小の長さと同じ場合、この長さのバーコードのみ読み取ることができます。

例：

最小の長さを 8 バイト、最大の長さを 12 バイトの Plessey バーコードを読み取るように設定：

1. 「設定開始」バーコードを読み取る
2. 「最小の長さ」バーコードを読み取る
3. 数字バーコード「8」を読み取る
(付録-数字バーコードを参照)
4. 「保存」バーコードを読み取る
(付録-保存やキャンセルを参照)
5. 「最大の長さ」バーコードを読み取る
6. 数字バーコード「1」を読み取る
7. 数字バーコード「2」を読み取る
8. 「保存」バーコードを読み取る
9. 「設定完了」バーコードを読み取る

4.19.4. チェック

Plessey のバーコードデータにチェックデジットが含まれる場合、最後の 2 桁がチェックデジットです。チェックデジットはチェックデジット以外の全てのデータを計算した値で、データの正確性をチェックできます。

無効：全てのバーコードデータを送信します。

有効、チェックデジットを送信しない：バーコードの最後の 2 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジット以外の全てのデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。

有効、チェックデジットを送信：バーコードの最後の 2 桁でチェックを行います。チェック成功の場合、チェックデジットを含めてバーコードデータを送信します。チェック失敗の場合、バーコードデータを送信しません。



@PLYCHK0

*無効



@PLYCHK1

有効、チェックデジットを送信しない



@PLYCHK2

有効、チェックデジットを送信

注：有効、チェックデジットを送信しないに設定した場合、バーコードデータの長さから 2 バイトのチェックデジットを引いた長さが、最小の読取長より小さい場合、読取失敗になります。

例：Plessey の最小の読取長を 4 バイトに設定し、チェックデジットを送信しない場合、長さが 4 バイトの Plessey バーコードを読み取ると、読取失敗になります。

4.20. MSI Plessey に関する設定

4.20.1. 工場出荷時設定に戻す



@MSIDEF

4.20.2. 読取有効／無効



@MSIENA1

有効



@MSIENA0

*無効

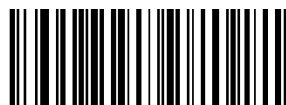
4.20.3. バーコードの読取長の設定

設定した最小から最大の間の長さの MSI Plessey バーコードを読み取ります。



@MSIMIN

最小の長さ



@MSIMAX

最大の長さ

注：全ての一次元バーコードの長さは 127 バイトを超えてはいけません。最大の長さが最小の長さと同じ場合、この長さのバーコードのみ読み取ることができます。

例：

8バイトから12バイトまでの MSI-Plessey バーコードを読み取るように設定：

1. 「設定開始」バーコードを読み取る
2. 「最小の長さ」バーコードを読み取る
3. 数字バーコード「8」を読み取る
(付録-数字バーコードを参照)
4. 「保存」バーコードを読み取る
(付録-保存やキャンセルを参照)
5. 「最大の長さ」バーコードを読み取る
6. 数字バーコード「1」を読み取る
7. 数字バーコード「2」を読み取る
8. 「保存」バーコードを読み取る
9. 「設定完了」バーコードを読み取る

4.20.4. チェック

MSI-Plessey のバーコードデータにチェックデジットが含まれる場合、最後の 1 桁または 2 桁がチェックデジットです。チェックデジットはチェックデジット以外の全てのデータを計算した値で、データの正確性をチェックできます。



無効



*チェックデジット 1 桁 : MOD10



チェックデジット 2 桁 : MOD10/MOD10



チェックデジット 2 桁 : MOD10/MOD11

4.20.5. チェックデジットの送信



*送信



送信しない

注 : 有効、チェックデジットを送信しないに設定した場合、バーコードデータの長さから 2 バイトのチェックデジットを引いてから、最小の読取長より小さいとき、読取失敗になります。

例 : MSI-Plessey の最小の読取長を 4 バイトに設定し、チェックデジットを送信しない場合、長さが 4 バイトの MSI-Plessey バーコードを読み取ると、読取失敗になります。

4.21. PDF417 に関する設定

4.21.1. 工場出荷時設定に戻す



4.21.2. 読取有効／無効



*有効



無効

4.21.3. バーコードの読取長の設定

設定した最小から最大の間の長さの PDF417 バーコードを読み取ります。



最小の長さ



最大の長さ

注：PDF417 コードデータの最大の長さは 65535 バイトを超えてはいけません。且つ、最大の長さは最小の長さより大きい必要があります。固定の長さの PDF417 バーコードを読み取りたい場合、最大の長さと最小の長さを同じ値に設定してください。

例：

8 バイトから 12 バイトまでの PDF417 コードを読み取るように設定：

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 「設定開始」バーコードを読み取る | 6. 数字バーコード「1」を読み取る |
| 2. 「最小の長さ」バーコードを読み取る | 7. 数字バーコード「2」を読み取る |
| 3. 数字バーコード「8」を読み取る
(付録-数字バーコードを参照) | 8. 「保存」バーコードを読み取る |
| 4. 「保存」バーコードを読み取る
(付録-保存やキャンセルを参照) | 9. 「設定完了」バーコードを読み取る |
| 5. 「最大の長さ」バーコードを読み取る | |

4.21.4. PDF417ダブルコード

シングル PDF417 コードを読み取り：一回に一つの PDF417 コードしか読み取ることができません。

ダブル PDF417 コードを読み取り：一回に二つの PDF417 コードを検出・解析できてからバーコードデータを送信できます。

シングル・ダブル PDF417 コードを読み取り：一回に一つの PDF417 コードを検出・解析できても、二つの PDF417 コードを検出・解析できてもデータを送信できます。



* シングル PDF417 コードを読み取り

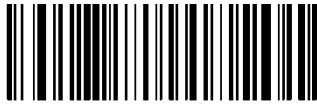


ダブル PDF417 コードを読み取り



シングル・ダブル PDF417 コードを読み取り

4.21.5. キャラクターのエンコード方式



@PDFENC0

*デフォルト



@PDFENC1

UTF-8



@PDFENC2

UTF-8 または Code Page 自動選択

4.21.6. ECIの出力



@PDFECI0

無効



@PDFECI1

*有効

4.22. QR Code に関する設定

4.22.1. 工場出荷時設定に戻す



4.22.2. 読取有効／無効



*有効



無効

4.22.3. バーコードの読取長の設定

設定した最小から最大の間の長さの QR コードを読み取ります。



最小の長さ



最大の長さ

注：QR コードデータの最大の長さは 65535 バイトを超えてはいけません。且つ、最大の長さは最小の長さより大きい必要があります。固定の長さの QR コードを読み取りたい場合、最大の長さと最小の長さを同じように設定してください。

例：

8～12 バイトの QR コードを読み取るように設定：

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 「設定開始」バーコードを読み取る | 6. 数字バーコード「1」を読み取る |
| 2. 「最小の長さ」バーコードを読み取る | 7. 数字バーコード「2」を読み取る |
| 3. 数字バーコード「8」を読み取る
(付録-数字バーコードを参照) | 8. 「保存」バーコードを読み取る |
| 4. 「保存」バーコードを読み取る
(付録-保存やキャンセルを参照) | 9. 「設定完了」バーコードを読み取る |
| 5. 「最大の長さ」バーコードを読み取る | |

4.22.4. ダブルQRコード

シングル QR コードを読み取り：一回に一つの QR コードを読み取ります。

ダブル QR コードを読み取り：一回に二つの QR コードを検出・解析できてからバーコードデータを送信します。

シングル・ダブル QR コードを読み取り：一回に一つの QR コードを検出・解析できた場合と、二つの QR コードを検出・解析できた場合の両方で、データを送信します。



* シングル QR コードを読み取り



ダブル QR コードを読み取り



シングル・ダブル QR コードを読み取り

4.22.5. キャラクターのエンコード方式



@QRCENC0

*デフォルト



@QRCENC1

UTF-8



@QRCENC3

UTF-8 または Code Page 自動選択

4.22.6. ECIの出力



@QRCEC10

無効



@QRCEC11

*有効

4.23. Micro QR Code に関する設定

4.23.1. 工場出荷時設定に戻す



4.23.2. 読取有効／無効



有効



*無効

4.23.3. バーコードの読取長の設定

設定した最小から最大の間の長さの Micro QR コードを読み取ります。



最小の長さ



最大の長さ

注：Micro QR Code データの最大長さは 65535 バイトを超えてはいけません。且つ、最大の長さは最小の長さより大きい必要があります。固定の長さの Micro QR Code を読取したい場合、最大の長さと最小の長さを同じように設定してください。

例：

8バイト～12バイトのMicro QR Code を読み取るように設定：

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 「設定開始」バーコードを読み取る | 6. 数字バーコード「1」を読み取る |
| 2. 「最小の長さ」バーコードを読み取る | 7. 数字バーコード「2」を読み取る |
| 3. 数字バーコード「8」を読み取る
(付録-数字バーコードを参照) | 8. 「保存」バーコードを読み取る |
| 4. 「保存」バーコードを読み取る
(付録-保存やキャンセルを参照) | 9. 「設定完了」バーコードを読み取る |
| 5. 「最大の長さ」バーコードを読み取る | |

4.24. Data Matrix に関する設定

4.24.1. 工場出荷時設定に戻す



4.24.2. 読取有効／無効



*有効



無効

4.24.3. バーコードの読取長の設定

設定した最小から最大の間の長さの Data Matrix コードを読み取ります。



最小の長さ



最大の長さ

注： Data Matrix Code データの最大の長さは 65535 バイトを超えてはいけません。且つ、最大の長さは最小の長さより大きい必要があります。固定の長さの Data Matrix Code を読取したい場合、最大の長さと最小の長さを同じように設定してください。

例：

8バイト~12バイトの Data Matrix Code を読み取るように設定：

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 1. 「設定開始」バーコードを読み取る | 6. 数字バーコード「1」を読み取る |
| 2. 「最小の長さ」バーコードを読み取る | 7. 数字バーコード「2」を読み取る |
| 3. 数字バーコード「8」を読み取る
(付録-数字バーコードを参照) | 8. 「保存」バーコードを読み取る |
| 4. 「保存」バーコードを読み取る
(付録-保存やキャンセルを参照) | 9. 「設定完了」バーコードを読み取る |
| 5. 「最大の長さ」バーコードを読み取る | |

4.24.4. ダブルData Matrixコード

シングル読み取り：一回に一つの Data Matrix コードしか読み取ることができません。

ダブル読み取り：一回に二つの Data Matrix コードを検出・解析できてからバーコードデータを送信します。送信順番は上から下または左から右になります。

シングル及びダブル読み取り：先にダブルコードのチェックを行い、チェック成功の場合、ダブルコードのデータを送信します。チェック失敗の場合、シングルコードのデータを送信します。



*シングル読み取り



ダブル読み取り



シングル及びダブル読み取り

4.24.5. 矩形コード

長方形の Data Matrix コードを読み取ります。

無効：長さ・幅のモジュール数が同じの正方形の Data Matrix コード：10 * 10, 12 * 12...144 * 144。

有効：長さ・幅のモジュール数が異なる長方形の Data Matrix コード：6 * 16, 6 * 14...14 * 22。



*有効



無効

4.24.6. キャラクターのエンコード方式



@DMCENC0

*デフォルト



@DMCENC1

UTF-8



@DMCENC2

UTF-8 または Code Page 自動選択

4.24.7. ECIの出力



@DMCEC10

無効



@DMCEC11

*有効

5. プレフィックス／サフィックスの設定

5.1. 一般設定

5.1.1. 全てのプレフィックス／サフィックスの設定

全てのプレフィックス／サフィックス無効：バーコードデータを解析後にバーコードデータのみ送信します。

全てのプレフィックス／サフィックス有効：解析されたバーコードデータの前後に「Code ID プレフィックス」、「カスタムプレフィックス」、「AIM ID プレフィックス」、「カスタムサフィックス」、「終了サフィックス」を追加します。



全てのプレフィックス／サフィックス無効



全てのプレフィックス／サフィックス有効

5.2. プレフィックスの順番



Code ID + カスタムプレフィックス + AIM ID



カスタムプレフィックス + Code ID + AIM ID

5.3. カスタムプレフィックスの追加

バーコードデータの先頭にユーザカスタム文字列を追加します。

例：カスタムプレフィックスの追加を有効設定、且つプレフィックスを文字列「AB」に設定した場合、バーコードデータ「123」のバーコードを読み取ると、「123」の前に文字列「AB」が追加され、ホスト端末に「AB123」を送信します。



無効



有効

5.3.1. カスタムプレフィックスの変更

カスタムプレフィックスを変更するには設定バーコード「@CPRSET」を読み取り、順番に設定したいプレフィックスの16進数データを読み取って、「保存」バーコードを読み取ります。

注：カスタムプレフィックス文字列の長さは10キャラクター以下である必要があります。

キャラクターの範囲：0x00~0xFF。



例：

カスタムプレフィックスを「CODE」に設定(16進数データ：0x43/0x4F/0x44/0x45)：

1. 「設定開始」バーコードを読み取る
2. 「カスタムプレフィックスの変更」バーコードを読み取る
3. 順番に数字バーコード「4」「3」「4」「F」「4」「4」「4」「5」を読み取る
4. 「保存」バーコードを読み取る
5. 「カスタムプレフィックスの追加」の「有効」を読み取る
6. 「設定終了」バーコードを読み取る

5.4. AIM ID プレフィックス

AIM ID は各タイプのバーコードに識別コードを定義しています。詳細は「7.3 AIM ID リスト」を参照してください。設定後にバーコードを読み取ると AIM ID がバーコードデータの前に追加されます。

例：Code 128 の AIM ID プレフィックスは「C0」です。



無効



有効

注：AIM ID は変更できません。

5.5. Code ID プレフィックス

Code ID プレフィックスはカスタム設定が可能です。全てのバーコードタイプの Code ID は 1 ～ 2 キャラクターであり、且つ英字である必要があります。



無効



有効

5.5.1. 工場出荷時のCode IDに戻す



5.5.2. Code IDの変更

Code ID の変更の操作と工場出荷時の Code ID に戻す操作について、下記の例を参照してください。

例：

PDF 417 の Code ID を「p」に変更（16 進数は 0x70）

1. 「設定開始」バーコードを読み取る
2. 「PDF417」バーコードを読み取る（「5.4 Code ID リスト」を参照）
3. 順番に数字バーコード「7」「0」を読み取る
4. 「保存」バーコードを読み取る
5. 「設定終了」バーコードを読み取る

PDF417 を含めて全てバーコードの Code ID を工場出荷時に戻す：

1. 「設定開始」バーコードを読み取る
2. 「工場出荷時の Code ID に戻す」バーコードを読み取る
3. 「設定終了」バーコードを読み取る

5.5.2.1. 一次元バーコードの Code ID の変更



Code 128



GS1-128(UCC/EAN-128)



EAN-8



EAN-13



@CID006

UPC-E



@CID007

UPC-A



@CID008

Interleaved 2 of 5



@CID009

ITF-14



@CID010

ITF-6



@CID011

Matrix 2 of 5



@CID013

Code 39



@CID015

Codabar



@CID017

Code 93



@CID023

ISSN



@CID024

ISBN



@CID025

Industrial 25



@CID027

Plessey



@CID028

Code 11



@CID029

MSI Plessey

5.5.2.2. 二次元バーコードの Code ID の変更



@CID032

PDF 417



@CID033

QR



@CID043

Micro QR



@CID035

Data Matrix

5.6. カスタムサフィックスの追加

バーコードデータの後端にカスタム文字列を追加します。

カスタムサフィックスの追加を有効に設定し、サフィックス文字列を「AB」に設定した場合、バーコードデータ「123」のバーコードを読み取ると、「123」の最後に文字列「AB」が追加し、ホスト端末に「123AB」を送信します。



@CSUENA0

無効



@CSUENA1

有効

5.6.1. カスタムサフィックスの変更

カスタムサフィックスを変更するには設定バーコード「@CSUSET」を読み取り、順番に設定したいサフィックスの16進数データを読み取り、「保存」バーコードを読み取ります。

注：カスタムサフィックス文字列の長さは10キャラクター以下である必要があります。



例：

カスタムサフィックスを「CODE」に設定(16進数データ：0x43／0x4F／0x44／0x45)：

1. 「設定開始」バーコードを読み取る
2. 「カスタムサフィックスの変更」バーコードを読み取る
3. 順番に数字バーコード「4」「3」「4」「F」「4」「4」「4」「5」を読み取る
4. 「保存」バーコードを読み取る
5. 「カスタムサフィックスの追加」の「有効」を読み取る
6. 「設定終了」バーコードを読み取る

5.7. 終了キャラクターサフィックスの追加

終了キャラクターサフィックスは全てのデータ送信完了を表します。終了キャラクターサフィックスは独立した存在で、他のデータフォーマットの処理に関与しません。終了キャラクターサフィックスは必ず送信したデータの最後に追加されています。



無効

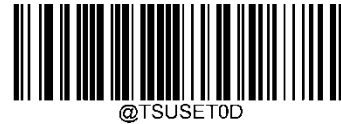


有効

5.7.1. 終了キャラクターサフィックスの変更

「@TSUSET」を読み取り、順番に設定したいサフィックスの 16 進数データを読み取り、「保存」バーコードを読み取ります。

注：終了キャラクターサフィックス文字列の長さは 2 キャラクター以下である必要があります。



終了キャラクターサフィックスを<CR>(0x0D)に変更



終了キャラクターサフィックスを<CR> <LF>(0x0D,0x0A)に変更

6. HID 専用設定

6.1. 工場出荷時の設定に戻す



6.2. スリープの設定



無効



*有効



現在の設定の確認

6.3. スキャン後のビープ設定



無効



*有効



現在の設定の確認

6.4. 電源 ON 時のビープ設定



無効



*有効



現在の設定の確認

6.5. 文字間の表示遅延時間の設定



@DLY_5@

5ms 遅延



@DLY_10@

*10ms 遅延



@DLY_15@

15ms 遅延



@DLY_20@

20ms 遅延



@DLY_25@

25ms 遅延



@DLY_50@

50ms 遅延



@REQ_DLY@

現在の設定の確認

6.6. 標準キーボードレイアウトタイプコード



@US_KB@

* 英語キーボード



@JP_KB@

日本キーボード



@REQ_KB@

現在の設定の確認

7. 付録

7.1. 数字バーコード

数字バーコードを読取後に「保存」バーコードを読み取って、設定を保存できます。

0~9



0



1



2



3



4



5



6



@DIGIT7

7



@DIGIT8

8



@DIGIT9

9

A~F



@DIGITA

A



@DIGITB

B



@DIGITC

C



@DIGITD

D



@DIGITE

E



@DIGITF

F

7.2. 保存・キャンセル

設定バーコードを読取後に「保存」バーコードを読み取ると、設定が保存されます。読取で誤操作が発生した場合は、改めて設定するか、設定をキャンセルします。

例：設定バーコードを読み取ってから、順番に数字バーコード「1」、「2」、「3」を読み取ります。

- ① 「直前に読み取った1桁のデータをキャンセル」を読み取ると、数字「3」がキャンセルされます。
- ② 「直前に読み取った一連のデータをキャンセル」を読み取ると、データ「123」がキャンセルされます。
- ③ 「現在の設定をキャンセル」を読み取ると、最初に読み取った設定バーコードを含めてキャンセルされます。



@DIGSAV

保存



@DIGCAN

現在の設定をキャンセル



@DIGDEL

直前に読み取った1桁のデータをキャンセル



@DIGDAL

直前に読み取った一連のデータをキャンセル

7.3. AIM ID リスト

シンボル	AIM ID	AIM ID 修飾文字 (m)
Code 128	]C0	
GS1-128 (UCC/EAN-128)	]C1	
EAN-8	]E4	
EAN-8 with Addon	]E4	
EAN-13	]E0	
EAN-13 with Addon	]E3	
UPC-E	]E0	
UPC-E with Addon	]E3	
UPC-A	]E0	
UPC-A with Addon	]E3	
Interleaved 2 of 5	]Im	0, 1, 3
ITF-14	]Im	1, 3
ITF-6	]Im	1, 3
Matrix 2 of 5	]X0	
Code 39	]Am	0, 1, 3, 4, 5, 7
Codabar	]Fm	0, 2, 4
Code 93	]G0	
ISSN	]X0	
ISBN	]X0	
Industrial 25	]S0	
Plessey	]P0	
Code 11	]Hm	0, 1, 3
MSI Plessey	]Mm	0, 1
PDF417	]Lm	0, 1, 2, 3, 4, 5
QR Code	]Qm	0-6
Data Matrix	]dm	0-6
Micro QR	]Q1	

参考資料 : ISO/IEC 15424 : 2008 Information technology - Automatic identification and data capture techniques - Data Carrier Identifiers (including Symbolism Identifiers)

7.4. Code ID リスト

シンボル	Code ID
Code 128	J
GS1-128 (UCC/EAN-128)	J
EAN-8	D
EAN-13	D
UPC-E	C
UPC-A	C
Interleaved 2 of 5	E
ITF-14	E
ITF-6	E
Matrix 2 of 5	v
Code 39	b
Codabar	a
Code 93	i
ISSN	g
ISBN	B
Industrial 25	I
Plessey	n
Code 11	H
MSI Plessey	m
PDF417	r
QR Code	s
Data Matrix	u
Micro QR	X

7.5. シンボル ID リスト

シンボル	ID
Code 128	002
GS1-128 (UCC/EAN-128)	003
EAN-8	004
EAN-13	005
UPC-E	006
UPC-A	007
Interleaved 2 OF 5	008
ITF-14	009
ITF-6	010
Matrix 2 of 5	011
Code 39	013
Codabar	015
Code 93	017
ISSN	023
ISBN	024
Industrial25	025
Plessey	027
Code11	028
MSI-Plessey	029
PDF417	032
QR Code	033
Data Matrix	035
Micro QR	043

7.6. ASCII リスト

16進数	10進数	キャラクター
00	0	NUL (Null char.)
01	1	SOH (Start of Header)
02	2	STX (Start of Text)
03	3	ETX (End of Text)
04	4	EOT (End of Transmission)
05	5	ENQ (Enquiry)
06	6	ACK (Acknowledgment)
07	7	BEL (Bell)
08	8	BS (Backspace)
09	9	HT (Horizontal Tab)
0a	10	LF (Line Feed)
0b	11	VT (Vertical Tab)
0c	12	FF (Form Feed)
0d	13	CR (Carriage Return)
0e	14	SO (Shift Out)
0f	15	SI (Shift In)
10	16	DLE (Data Link Escape)
11	17	DC1 (XON) (Device Control 1)
12	18	DC2 (Device Control 2)
13	19	DC3 (XOFF) (Device Control 3)
14	20	DC4 (Device Control 4)
15	21	NAK (Negative Acknowledgment)
16	22	SYN (Synchronous Idle)
17	23	ETB (End of Trans. Block)
18	24	CAN (Cancel)
19	25	EM (End of Medium)
1a	26	SUB (Substitute)
1b	27	ESC (Escape)
1c	28	FS (File Separator)
1d	29	GS (Group Separator)
1e	30	RS (Request to Send)
1f	31	US (Unit Separator)
20	32	SP (Space)
21	33	! (Exclamation Mark)
22	34	" (Double Quote)
23	35	# (Number Sign)
24	36	\$ (Dollar Sign)
25	37	% (Percent)
26	38	& (Ampersand)
27	39	` (Single Quote)

28	40	((Left/ Opening Parenthesis)
29	41	) (Right/ Closing Parenthesis)
2a	42	* (Asterisk)
2b	43	+ (Plus)
2c	44	, (Comma)
2d	45	- (Minus/ Dash)
2e	46	. (Dot)
2f	47	/ (Forward Slash)
30	48	0
31	49	1
32	50	2
33	51	3
34	52	4
35	53	5
36	54	6
37	55	7
38	56	8
39	57	9
3a	58	: (Colon)
3b	59	; (Semi-colon)
3c	60	< (Less Than)
3d	61	= (Equal Sign)
3e	62	> (Greater Than)
3f	63	? (Question Mark)
40	64	@ (AT Symbol)
41	65	A
42	66	B
43		C
22		D
45	69	E
46	70	F
47	71	G
48	72	H
49	73	I
4a	74	J
4b	75	K
4c	76	L
4d	77	M
4e	78	N
4f	79	O
50	80	P
51	81	Q
52	82	R
53	83	S

54	84	T
55	85	U
56	86	V
57	87	W
58	88	X
59	89	Y
5a	90	Z
5b	91	[(Left / Opening Bracket)
5c	92	\ (Back Slash)
5d	93	] (Right / Closing Bracket)
5e	94	^ (Caret / Circumflex)
5f	95	_ (Underscore)
60	96	' (Grave Accent)
61	97	a
62	98	b
63	99	c
64	100	d
65	101	e
66	102	f
67	103	g
68	104	h
69	105	i
6a	106	j
6b	107	k
6c	108	l
6d	109	m
6e	110	n
6f	111	o
70	112	p
71	113	q
72	114	r
73	115	s
74	116	t
75	117	u
76	118	v
77	119	w
78	120	x
79	121	y
7a	122	z
7b	123	{ (Left / Opening Brace)
7c	124	(Vertical Bar)
7d	125	} (Right / Closing Brace)
7e	126	~ (Tilde)
7f	127	DEL (Delete)

ASR-A25S シリーズ

ASR-P252B

ASR-023B-V2

バーコード設定マニュアル

株式会社アスタリスク

〒532-0013

大阪府大阪市淀川区木川西 2 丁目 2-1 AsTech Osaka Building

- ・AsReader は、株式会社アスタリスクの登録商標です。
- ・App Store、iPad、iPadOS、iPhone、iPod touch、Mac、Macintosh、macOS は、Apple Inc.の商標です。
- ・iPhone の商標は日本国内においてアイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ・IOS は、米国およびその他の国における Cisco Systems, Inc. の商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されます。
- ・Google Play、Android は、Google LLC の商標です。
- ・Microsoft、Visual C#、Visual C++、Visual Studio、Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。